

OWL-602D II 取扱説明書

1. サイドパネルの取り外し



サイドパネルを止めているネジを外します。



サイドパネルを矢印の方向に開きます。

2. 5.25" ドライブベイの取り付け

本製品では付属されている専用の固定ネジを使用してドライブを固定することができます。また、ドライブは固定する前に「マスター/スレーブ」等の設定を行っておきます。」



フロントパネルにあるロックキーを矢印の方向に回してロックを解除します。



フロントの扉を手前に引きます。



使用する位置のベゼルを手前に引いてはずします。
*この際、力を入れすぎるとベゼルのツメが破損する恐れがありますので手を添えてゆっくり外して下さい。



金属のベゼル板に指を差し込み、何度か上下させながらはずします。
*この際、ベゼル板で手を切らないように十分注意して下さい。



3.5"ベイを使用する時も同様の処理をします。



ケース内部に付属しているドライブ固定ネジを取り外します。
*通常ドライブ1台につき4個のネジを使用します。



取り外したネジを左右のドライブのネジ穴に付けていきます。



ドライブをはずす場合はロック部のツメを手前に引きながら、はずします。

3. 3.5" FDD ベイの取り付け

本製品では付属のミリネジを使用してドライブを固定します。



FDD ベイのラッチ式レバーを矢印の方向に引きます



ケースより FDD ベイを取り外します。



使用するドライブ類をネジ穴に合わせて固定して下さい。接続が完了したら元の FDD ベイに戻しラッチ式レバーを戻しロックをして下さい。

4. 3.5" シャドウベイの取り付け

本製品では付属のインチネジを使用してドライブを固定します。



シャドウベイのラッチ式レバーを矢印の方向に引きケースより取外します。



HDD をネジ穴に合わせて固定して下さい。接続が完了したらケースに戻しラッチ式レバーを戻しロックをして下さい。

5. P C Iカードの取り付け

本製品ではP C Iロックパーツを使用するためP C Iカードの取り付けの際にネジでの固定は不要となります。



PCIカードロックレバーを引き上げてロックを解除して取り外します。



PCIスロットカバーを持ち上げて取り外します。



PCIカードを取り付けたらロックレバーを固定溝に挿入します。



ロックレバーを強めに押すとロックが掛かり取り付けが完了になります。

6. ファンの取り付け

本製品のシャドウベイに8cmFANを取り付けることができます。



ケースよりシャドウベイを取り外します。



シャドウベイ内部のFANブラケットを取り外します。



FANブラケットにFANを取付けます。ネジレスになりますのでネジで固定する必要はありません。ブラケットに取付けるとロックが掛かり完了になります。FANの取付が完了したら元の状態にブラケットを戻して下さい。

7. フロントアクセスポートケーブル・システムスイッチケーブルの取り付け

本製品にはフロントパネルに開閉式のフロントアクセスポートを装備しています。フロントアクセスポートを使用する場合は各接続ケーブルをマザーボードに接続する必要があります。また、POWER SW・HDD LED等のシステムスイッチケーブルもマザーボードに接続する必要があります。



【フロントアクセスポート】



【IEEE1394 コネクタケーブル】

*IEEE1394 コネクタケーブルは、マザーボード内部IEEE1394 端子に接続をすることは出来ません。PCIスロットの空きを利用してマザーボード背面I/Oバックパネル側のIEEE1394ポートに接続をして下さい。



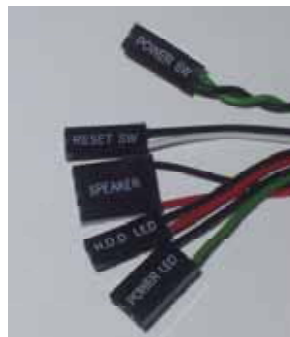
【オーディオコネクタケーブル】

*オーディオコネクタケーブルは、マザーボード内部オーディオ端子に接続をすることは出来ません。PCIスロットの空きを利用してマザーボード背面I/Oバックパネル側のオーディオポートに接続をして下さい。



【USB コネクタケーブル】

*マザーボードの内部USB端子に接続をします。信号ラインの名称は、各マザーボードメーカーにより異なりますので必ずマザーボードマニュアルを確認して接続を行って下さい。



【システムスイッチケーブル】

*POWER SW・HDD LED等のシステムスイッチは、マザーボードの取扱説明書を必ずご確認しながら接続を行って下さい。また、システムスイッチのPOWER LED・HDD LEDには極性があります。ケーブルの黒又は白側がGND側になります。

《注意》

システムスイッチケーブル・USBコネクタケーブルの接続方法や信号ラインの呼称名は、マザーボードメーカーにより異なります。必ずマザーボードのマニュアルを確認して接続を行って下さい。